



2015年3月25日
東京急行電鉄株式会社

**従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に取り組んでいる企業として
「健康経営銘柄」に選定されました！**

当社は、3月25日(水)、経済産業省が東京証券取引所と共同で選定する「健康経営銘柄」に選定されました。

「健康経営銘柄」は、経済産業省が東京証券取引所と共同で、東証一部上場企業の中から業種ごとに、「健康経営」に優れた企業を選定する取組です。長期的な視点からの企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業として紹介をすることを通じ、企業による「健康経営」の取組を促進することを目指しています。本取組は、日本再興戦略に位置づけられた「国民の健康寿命の延伸」に対する取組の一つとなっており、今回が初めての選定となります。

当社は、従業員への健康診断の実施、産業医や保健師の指導から、東急病院での医療サービスまで、ワンストップの健康管理を提供しています。25年目と35年目の永年勤続表彰の節目で東急病院の人間ドックを提供したり、多くの産業医や保健師によるきめ細かな健康指導を提供することなどにより、従業員の健康に対する意識を高く保っています。また、心療内科の産業医によるメンタルヘルス対策により、従業員のメンタルヘルス不調による1か月以上の休業率は、全国平均を下回って推移しています。



大岡山駅に直結する東急病院

当社の創業者である五島慶太は、「人の成功と失敗のわかれ目は第一に健康である。次には、熱と誠である。体力があって、熱と誠があるならば、必ず成功する。」という言葉を残しており、当社は快適で働きやすい職場環境をつくり、従業員一人ひとりに災害がなく健康で明るくいいきと働くことが、安全運行の確保をはじめ、お客さまに対する心のこもったサービス提供への第一歩であると考えています。

当社は、従業員とその家族の健康を企業価値の向上につなげるだけでなく、企業立病院である東急病院や生活サービス事業の展開により、東急線沿線のお客さまにも健康サービスを提供し、「健康長寿の街」という付加価値を生み出すことで、沿線価値の向上につなげていきます。

以上

健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。